

# 新泉サナホーム便り

第5号  
2020年1月15日

発行人  
新泉サナホーム  
結城拓也

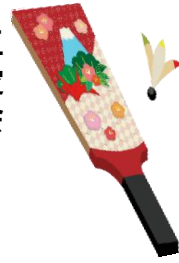


## 年頭挨拶



社会福祉法人 仁愛会

理事長 神藤 公司



新年おめでとございませう。

皆様には穏やかなお正月を迎えられたことと思います。

私は昨年の十月一日に、中村稔前理事長の後を受け、理事長に就任いたしました。生命保険会社に長く勤めた後、平成十二年に松原サナホームに事務長として入職いたしました。その後、松原サナホーム施設長、法人事務局長、和泉サナホーム施設長を経て現在に至っております。どうぞよろしく願ひいたします。

さて、仁愛会はこの6年程前から杉並区への進出を進め（平成二十六年和泉サナホーム、平成三十年新泉サナホーム）、法人規模が一挙に拡大しています。職員数では70人体制がその約3倍の200人を超える規模にまでなっております。

しかしながら、採用環境の急激な悪化により、また短期間に急速に事業を拡大したこともあり、必要な職員数の補充や

職員の定着が極めて難しくなっています。結果として、利用者サービスではまだ十分水準にあると強く認識しています。

かつて私が会社員になった頃の上司の話が記憶に残っています。それは、誰もが偉くなりたいと思っており、それが働く意欲となる」といふものでした。偉くなりたい」とは、上昇志向の下の適切な処遇と将来の地位（社会的評価を含む）へ欲求」であると私は思います。

辞めるために入職してくる職員は絶対におりません。自分をどのように処遇し、育ててくれるかを期待して入職してくるに違いありません。そこでは将来への道筋の提示とともに適切な教育の実施による着実な育成が絶対に必要になります。

以上に基づき、今年は特に、教育、研修体制の整備にしっかりと取り組んでいきたいと思ひます。皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしく願ひ申し上げます。



新泉サナホーム

施設長 結城 拓也



新年明けましておめでとございませう。本年もよろしく願ひ申し上げます。

新泉サナホームは、皆様からのご指導ならびにご協力の下、「入所者、職員と共に新しい年を迎えることができました。施設を代表し心より感謝申し上げます。

さて、昨年に引き続き、入所者が安心して暮らせる施設、職員がより元気に働き続けることができる職場づくりに向けた基礎づくりに取り組まれます。基礎づくりの一環として、施設サービスの標準化を継続的に実施し、ユニットやフロアの垣根を越えて、施設として一体的にサービス提供できる体制の強化を図ります。また、「家族やご利用者、関係者より頂戴したご意見を真摯に受け止め、日々のサービスへ素早く反映しサービス満足度を高めます。

本年も法人理念を大切に、新しいケアの考え方や技術を積極的に取り入れ、

日々のサービスの向上に努めて参ります。  
ご指導・ご鞭撻のほど、よろしく願いたい  
します。

皆様にとつて幸多き一年となりますよう  
心よりお祈り申し上げます。



松原サナホーム

施設長 齋藤 裕



新年明けましておめでとございます  
す！皆さまのご協力・ご支援のお陰で、  
無事新年を迎えることができました。

昨年皆様に多大なるご不便をおかけし  
た大規模修繕も、あと少しで完工予定で  
あり、これもひとえに皆様の「ご協力のお  
かげで、心より感謝申し上げます。また、  
台風19号の際にも、ボイラー室より水が  
湧き出てくる中、地元の消防団の方にも  
「ご協力頂き事なきを得、本当にありがと  
うございました。台風の際には、多数の職  
員が宿泊した為、途中の道路の崩落によ  
り閉じ込められても、「利用者の生活に  
大きな影響はありませんでし

た。防災・復旧に当たって下さった皆様のおかげで、  
崩落後24時間と経たずに通行可能となりました。

協力・助け合いの大切さを再確認でき、仁愛会とし  
ても日頃から、そして有事の際にも、社会を支えて  
いく一員としてあり続けたいと思います。

本年も皆様の「ご指導・ご鞭撻の程よろしく願  
いたします。



和泉サナホーム

施設長 古川 裕美



明けましておめでとございます。

昨年中は「利用者」「家族様をはじめたくさん  
の方々に「ご協力いただき、ありがとうございました。下  
期に入り、理事長、施設長が交代となり慌ただしく  
過ごしてまいりましたが、なんとか職員と共に新しい  
年を迎えることが出来ました。心より感謝申し上げ  
ます。

さて、年が改まりました。今年は東京2020、き  
つと素晴らしいパフォーマンスとともに、笑いあり、涙  
ありの感動が待ち受けていると思えます。

昔から笑う門には福きたると言われております  
が、心から笑うと免疫機能が高まる、意識的に笑

顔を作るだけでポジティブになれる、という科学的な  
研究報告を皆様も「こかで耳にしたことがあるかと思  
います。实际会話の中で、「こちらが笑顔になると相手  
の表情が和らぎ、逆に、不愉快そうな表情で話をする  
と相手も同じような表情になりとげとげしい雰囲気にな  
ってきます。ユニットをまわっていてもその日出勤  
している職員が誰かわかるくらい雰囲気かわりま  
す。

法人の理念である「利用者を大切にします」を各  
言葉に、「ご利用者にもいつも笑顔でいていただけよう  
に、職員一同今年も「笑顔」を意識して大変な状況で  
もプラス発想で行動できるように頑張っていきたいと  
思います。「ご指導・ご鞭撻のほど、よろしく願いたい  
します。

皆様にとつて素敵なことがたくさんある一年でありま  
すよう心よりお祈り申し上げます



# 消防審査会準優勝！

前号でお伝えしたとおり、昨年9月に杉並消防署主催の自衛消防審査会が行われ、当施設は、2号消火栓の部において、準優勝いたしました。後日、表彰状と記念品の贈呈を受けました。

当施設では、2か月に2回、様々な場面を想定した訓練を実施しています。例えば、火災、地震など災害の種類、昼や夜間、深夜などの発生時間帯を組み合わせて計画・実施しています。

今後も、参加した隊員を中心に、防災意識を高めてまいります。



# 焼き芋大会

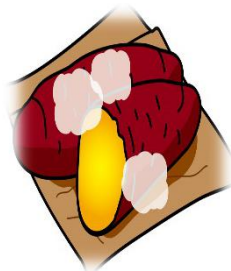
二月中旬から下旬にかけて、ユニット毎に焼き芋を行いました。おやつの際に入所者の皆様と一緒に作りました。焼



# クリスマス会

去る12月25日、クリスマス会を開催しました。ユニット毎、フロア毎にイベントを行いました。各ユニット担当者は、入所者に楽しんでいただくため、準備段階から趣向を凝らしたアイデアを出し合っていました。ユニット毎にクリスマスツリー、壁面にクリスマス飾りつけを行い、当日までの雰囲気づくりを行いました。

き芋はその場で食べていただき、秋のひと時を楽しんでいただきました。



当日は、入所者とご家族の皆様でケーキを食べながら、ひと時を過ごしていただきました。また、ご家族の皆様より素敵なお花等を頂戴いた

しました。誠にありがとうございました。



# 歌のプレゼント！

去る12月22日、和泉福音教会の皆様が、クリスマス時期に合わせた歌のプレゼントを届けてくださいました。

入所者の皆様も一緒に歌うことができように歌詞カードを「用意いただきました。心より感謝申し上げます。



# 餅つき大会

去る12月28日、餅つき大会を行いました。今回は、寒さ等を考慮し、屋内で行いました。

入所者の皆様は、杵と臼を見るなり、懐かしなく、よくあつたね」昔は各家で餅をついていたな」など、かつての思い出を語る方も多かったです。

おいしゅう、おいしゅう」の掛け声と共に入所者、ご家族、職員で餅をつきました。お声かけすると遠慮気味の入所者の方もいざ杵を手にとると、餅つきを楽しんでいたようです。つき上がったお餅は、入所者、ご家族、職員で丸めて、鏡餅として館内に飾りました。また、入所者の皆様には、おやつの時間にお汁粉を食べていただき、お正月を迎える雰囲気を楽しんでいただきました。

昔は普通にみられた光景も、時代の変化と共に変化します。当施設では、年中行事など、可能な限り入所者の皆様が過ごした時代背景を踏まえて実施したいと考えております。

※杵と臼は、子ども子育てプラザ和

泉様よりお借りしました。ご協力、ありがとうございました。



**明けまして、おめでとーございませう！**

おかげさまで、当施設として2回目の新年を迎えることができました。入所者、ご家族の皆様、地域の皆様等、当施設に関わる皆様に心より感謝申し上げます。

さて、当施設では、大晦日の夕食に年越しそばを食べていただき、新年を迎えます。元旦よりおせち料理、お屠蘇など、お正月らしい、ゆつたりとした



た雰囲気の中で過ごしていただけたように心がけております。

## 初笑い！新年会&書初め

新年を迎え、1月5日はユニット毎に新年会、翌日には書初めを行いました。新年会では、かるた、職員のマジックショーなどで盛り上がりました。書き初めも多くの入所者が参加し、書を楽しんでいたようです。



サナホームで話題のマギーさん



書き初めの様子

**編集後記** 今回は、主に年末年始の様子を中心に伝えました。あつたう間に2020年、オリンピックの年になりました。今年は賑やかな一年になりそうです。本年もよろしくお願ひいたします。